

**令和 3 年度**  
**地域サポートセンターよいどこい**  
**小規模多機能型居宅介護サービス評価**

霧島市国分府中町 17 番 8 号  
電話 0995-48-8877 FAX0995-48-8880  
<http://www.yokaanbe.net>

- ◆自己評価  
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）
  
- ◆外部評価  
外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）
  
- ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月6日(19:30~21:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 黒岩・笠口・有菌・小山・六本木・花田・永田・岩下・  
線・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	1人	13人

前回の改善計画

【ご利用者がどんな暮らしをしているのか?自宅へ伺う。】  
・前回の計画を引き続き継続。今後も新規の利用開始1ヶ月以内には全職員が送迎・訪問時に自宅へ行けるようにし、その人の暮らしや環境を見る・知る・聴く!!

前回の改善計画に対する取組み結果

目標を基に工夫して実行することができたが、完全な目標達成はできなかった。この目標は今後も継続的に必要な事柄になるので、常日頃からできる工夫を皆で検討していく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	2	1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	10	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	9	3	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・送迎を兼ねて行くことができた。・運転するスタッフに同乗して行けた。・ケアマネとして役割で行くことができた。・通いの時に暮らしぶりを聴くことができた。・他の職員から情報を得た。・送迎時ご家族から話を伺えた。・利用者同士話ができるように間に入った。・カンファレンス時に情報を得た。・朝のお迎え時に夜間の様子を聴いた。・夕方送り時によいどこいでの様子をお伝えした。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・全職員が自宅に行くことができなかった。・ご家族にどう暮らしぶりを聴いてよいか、うまく聞き出せなかった。・情報の共有が不十分だった。・ご自宅を知らないご利用者が数名いる。・ご利用スタートより先に情報収集できていなかった。・自宅での暮らしの流れ、こだわりを知らない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

『ご利用者がどんな暮らしをしているのか?自宅へ伺いMCSで情報共有する』  
・前回の計画を引き続き継続。今後も新規の利用開始1ヶ月以内には全職員が送迎、訪問時に自宅へ行けるようにし、その人の暮らしや環境を見る、知る、聴く!!  
・得た情報はMCSに入力して情報共有する。  
※MCSとはメディカルケアステーション(MCS)は全国の医療介護の現場で利用されている地域包括ケア・多職種連携のためのコミュニケーションツールです。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月6日(19:30~21:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 黒岩・荳口・有菌・小山・六本木・花田・永田・岩下・  
線・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	4人	13人

前回の改善計画  
 《ご利用者の誕生日に、本人の“～したい”を計画、実現しよう》  
 ◆誕生日用の企画ファイル作る。  
 ・誕生日の前の月には、集中して情報を得ていく。企画ファイルの中にセンター方式を入れ、得た情報を書き込んでいく。情報を基にご利用者の“～したい”を担当チームが計画、実行していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 ご利用者一人ひとりにとって特別な日であることを理解して、そこに合わせて～したいことを理解しようとする事ができた部分と、誕生日だけでなく、～したいことを実現することが日常の中で流れたこともあった。また、企画ファイルは実行が難しかったこともあるので、今後継続にはその問題把握が必要だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	3	6	4	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	8	3	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	7	4	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	3	3	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・誕生日前の月から内外問わず情報や意見を得た。・ご利用者自身に直接話を伺った。(ご本人の想いを汲んだ)・ご家族から誕生日の企画への意見を聴けた(昔の思い出など)・したい事など情報を得た。・お誕生日会に参加できた。・チームの計画に参加できた。・メッセージカードを準備したりした。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・誕生日用の企画ファイルを作れなかった。・情報を記入できなかった。・ご本人のしたいことの実現が出来なかった。・もともとご利用者のファイルデータを使うことがなかった。・計画、準備、など自ら動くことがなかった。・チーム任せになっていた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 『ご利用者の誕生日祝いや、本人の“～したい”を計画、実現しよう』  
 ・1で決めたMCSに情報を集め、そこからご本人の～したいことの情報に焦点を当て、実現できるように、担当チームを中心に計画、実行していく。  
 ・MCS情報➡センター方式への記載➡実施企画ファイルを作成

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月6日(19:30~21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 黒岩・笠口・有蘭・小山・六本木・花田・永田・岩下・  
線・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	3人	10人	13人

前回の改善計画	<p>《M様に焦点を当て、以前の暮らしを知る》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・M様の自宅へ伺い自分たちの目でその環境を見る。そこから他のご利用者の暮らしを知りたいと思える。</li> <li>・行った後、さらに知りたいことを記録し残す。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>M様を焦点を当てたがご自宅に伺えないご事情があり、目標を達成することができなかったが、他のご利用者のご自宅にうかがった際に暮らしの一部分に触れることができたことは記録に残し共有することができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	7	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	0	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	5	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	9	1	1	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	0	2	13

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>・M様のご自宅には伺うことはできなかったが、他のご利用者のご自宅に行くことができた。・ご利用者の会話の中で暮らしについてのキーワードは拾うようにしている。・ご利用者の以前の暮らしや環境に興味を持てた。・ご家族から話を伺えた。・ご自宅にうかがった際に友人から話をきくことができた。・送迎の時のなどに以前の暮らしを聴くことができた。</p>
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>・M様のご自宅には行くことができない事情が生じたが代替案を検討することもなかった。・自宅に伺ってもゆっくり自宅を拝見することができなかった。・知り得たことを記録できなかった。・本人に聞けなくてもご家族からも話を通じて暮らしの状況を知ることができるが、上手く聴くことができなかった。・地域資源というキーワードを記録に入力することができなかった。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>『今の暮らしを大切にするために写真や動画を残し、ご家族への伝える』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1で決めたMCSに写真や動画も入力する。</li> <li>・MCSを活用して、スタッフ間は共有し、ご家族へはそれを直接お見せして伝える。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月25日(19:30~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 黒岩・笠口・有蘭・小山・六本木・花田・永田・岩下・  
線・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	2人	10人	13人

前回の改善計画

《K様に焦点を当て、その方の地域の人、資源を知る。》

- ・BOシステム(タブレット)に入力時「地域資源」というキーワードを入れる。
- ・K様の暮らしマップを作る。 ・他のご利用者も同じ方法で情報を集める。

前回の改善計画に対する取組み結果

事業所から歩いて行くことができるM様であり、地域とのつながりも深い方である。その方の暮らしの場に身を置くことで、暮らしの事と地域のこと同時に知ることができた。が、地域資源のキーワードやマップ作成が進まない現状があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	8	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	9	3	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	5	3	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	4	6	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・K様のことを知るために自宅に行くようになり、自宅でご友人と話が出来たり、ご近所の方へも挨拶をすることができた。また、息子様からも話を伺えた。・直接ご本人から話を聴くことを心掛け、以前の暮らしも聴くようにした。・知り得た情報を記録することができた。・センター方式の入力を夜勤などの時間を使った。・上記のことでK様とつながっている方との関係性を知る、見ることができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・「暮らしマップ」の作成方法を知らない、存在を知らなかった。  
・タブレットへの記録入力ができなかった。(記録する時の「地域資源」というキーワード入力のルールを忘れていた。どこに入力してよいかわからない)・情報を知れただけになり、共有ができなかった。・他のスタッフからの情報を入手しなかった。・情報を自ら集めることができなかった。・テニスなどのキーワードを知っていてもそれをケアとして行動に移せない、広げられない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

『ご利用者のマップをつくろう』

- ・行事チームでご利用者を振り分け担当し/A3用紙を準備して、真ん中に御利用者を入れ、ファイリングする。
- ・作成する場合は、ミーティングの時間を活用し、経過を追っていく(3ヶ月に1回)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月25日(19:30~21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 黒岩・笠口・有菌・小山・六本木・花田・永田・岩下・  
線・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	10人	3人	0人	13人

前回の改善計画

《ミーティングの実施》  
 ・毎週木曜日 11:15~11:45 (30分)  
 ・実施する事で日々の悩みや、ご利用者の変化について話し合いが出来る。

前回の改善計画に対する取組み結果

勤務表にミーティング予定を明記して、開催することができたが、確実な継続開催ができていかなかった。ミーティングの開催の重要性は感じているので、実行できるようにすることが必須。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	5	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	11	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	10	2	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	11	2	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者のミーティングを継続して実施し、出勤時は参加ができた。また発言することもできた。・ミーティングの記録に目を通すことができた。・議題が決まっていなくても「話し合う」時間を大切にして、その時に「今気になる事」や「共有しておきたい事」について話し合うことができた。・テーマに対して活発な意見交換ができた。・様々な変化に対応すべく議題を設定して開催できた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・積極的にミーティング内で発言できていない。・参加してない時のミーティング記録を全て見ていない  
 ・計画的にミーティングが出来ない時があった。・勤務で参加できない時は事前に意見や疑問点などを参加職員に伝えておく準備もできなかった。・ご利用者の見守り等もあり全員参加できないこともあった。  
 ・わからないことを聞くことを忘れてそのままにしていることもあった。・進んで意見が出せなかった。  
 ご利用者の変化にみんな知っているだろうとの思い込みや、変化への気づきが遅いこともあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

『毎週1回ミーティングを開催する』  
 ・毎週水曜日若しくは金曜日に / 時間はその日のスタッフで調整する/中心になる調整役を決めて/そのスタッフとその日の担当スタッフでテーマや日時などの調整をする。  
 ・開催曜日は勤務表に予定を入れておく  
 ・テーマはMCSの「よいどこい」の欄にスタッフが誰でも投稿する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月4日(19:30~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 黒岩・笠口・有蘭・小山・六本木・花田・永田・岩下・緑・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	6人	2人	13人

前回の改善計画

《機関紙を手配りし、地域と顔が繋がることが出来る》

- ・機関紙をご利用者と一緒に配達することができるよう努める。
- ・担当エリアをローテーションし、全域を把握出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

毎月機関紙を作成し、配布することができ、配布する過程でも地域の方との交流も図れたことが良かった。配布の方法で工夫がまだできることがあるのでそこを改善していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	0	3	10	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	1	12	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	1	10	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	3	7	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・機関紙を配ることはできた。・機関紙作成に携わっているため、自ら手配りの意欲がわいて、顔と名前がほぼ一致した。・現在の担当エリアは全域把握できた。・少しはご利用者と一緒に配れた。・地域の方と話す機会が少し増えた。・自分が配布するとき、他のスタッフが現場をフォローしてくれた。・配達を自分ができない時にチームのメンバーがフォローしてくれた。・毎月の機関紙発行日を守ることができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・勤務時間内に機関紙を配るのが難しかった。・利用者様をお誘いできなかった。(ご利用者の身体を気遣ってしまう・コロナの影響があった)・担当エリアのローテーションができていない。・他の職員まかせ/気が付けば他のスタッフが配ってくれていた。・そもそも配る地域を知らなかった。・担当に入っていなかった。・機関紙を配る意味が共有できていない。・名前と場所が把握できていなかった。・他の活動との時間配分が難しかった。・限られたご利用者と近くまでしかいけなかった。・その時の天候、暑さ、寒さ、その日の状況、余裕、距離、ご利用者の体調など進めにくい要素があった。・地域を知ろうとしなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

『機関紙の手配りを継続する』

- ・配りに行くスタッフの「行ってきまっす」を中のスタッフは気持ちよく送り出す。
- ・外用車椅子も活用してご利用者の参加を促す
- ・一覧表に、配布に出た職員・ご利用者の名前を記入することによって偏りを軽減する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月4日(19:30~21:00)

7. 運営

メンバー 黒岩・笠口・有蘭・小山・六本木・花田・永田・岩下・  
繰・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	2人	0人	13人

前回の改善計画	《つみ木作りを定着化させる事で、ご利用者が楽しめる時間を作り、よいどこいの力として発信する》 ・納品目標を掲げる。 ・作る場所を考える。 ・ご利用者とスタッフが一緒に作業する。
前回の改善計画に対する取組み結果	積み木づくりは法人全体で取り組みが継続できている。関連事業所のアイランドホームさんや隼人工業高校さんとも協力できている。積み木づくりを通してさらにご利用者の力が社会に発揮されるように進めていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0	4	8	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	2	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	6	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	4	7	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・つみき作りは声掛けしてご利用者と一緒に目標に向けて取り組んでいる。 ・作業しながらワイワイできて楽しかった。・納品先と個数の目標が明確になっておりその時の状況に合わせて行えている。・お茶の時間前30分くらい作業できている。・積み木作りの目標の個数を表示するようになってより意識できるようになった。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・作業するためのその日の計画不足や声掛け不足がある。・自分から空いた時間に積み木を作ろうと動くことができなかった。・ご利用者から「しない、したくない」と断られる場面もあった。・このご利用者はできないと思い込んでいた。・他人任せになっていた。・声掛けするご利用者がいつも同じ人になっている ・定期的な計画的な実施する形ができていない。・誰もがができる形になっていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 『積み木づくりの継続的な取組』 ・全工程を改めて見直し、工程を細分化し参加できるご利用者の力の発揮される場を増やす。(木材選び、学校への搬送、磨き、検品、焼印が押し、包装等) ・検品合格の積み木にM氏を係に任命する。
---------------	--



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月24日(19:30~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 黒岩・笠口・有菌・小山・六本木・花田・永田・岩下・  
 繰・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	3人	13人

前回の改善計画  
 《積極的に研修に参加する》  
 ・リモート研修も積極的に取り入れ、研修に参加する事を計画していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 コロナ禍が続いており外部の研修は特に参加がしづらい状況になっているが、オンラインでの形式で工夫したりすることにより事業所内研修は継続することができた。今後はさらにオンライン形式が主流にもなっていくことが予測されるので、積極的に活用していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	9	0	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	4	5	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	0	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	7	4	2	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・職場内研修には参加できた。・認知症介護実践者研修に参加できた。・看護協会の褥瘡予防研修に参加できた。・管理者研修に参加できた。・自らレクリエーション研修に参加できた。・外部のオンライン研修に参加できた。・霧島市のライフサポートワーカー研修に参加できた。・鹿児島県の介護技能コンテストに参加した。・事務所に掲示された研修案内に目を通した。・コロナ禍であるが自宅でリモートで参加しやすかった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・自ら積極的に外部の研修に申し込み参加することはなかった。・地域の連絡会には参加していない。・コロナの影響で中止になった研修もあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 『積極的に研修に参加する』  
 ・リモート研修も積極的に取り入れ、研修に参加する事を計画していく。  
 ・研修チームが中心になり、研修情報を見える化し、法人内で統一して発信する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月24日(19:30~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 黒岩・笠口・有蘭・小山・六本木・花田・永田・岩下・  
繰・成尾・吉野・岡元・桃木野・工藤・塩満

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	3人	0人	13人

前回の改善計画	《一呼吸おく》 ・様々な場面で“一呼吸おいて”行動する事を心掛ける。また、その時に相手の気持ちを考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	一呼吸おくというキーワードをそれぞれのスタッフが意識していったことがわかった。さらに一呼吸おく意味や具体的な手法なども明確にして共有できるようにしていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	5	1	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	3	8	2	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	2	10	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	3	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・バタバタする時ほど一呼吸おいた。・食事介助中、ご利用者の立場に立って介助した。・自分なりに頭の中で考えることにより一呼吸置くことになった。・ご利用者がどうしたいのか?できるだけ待って見守ることができた。・様子を観察することができた。・声のトーン、音量、言葉など自覚してできた。・丁寧に優しく話をするように努めた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・忙しい時は相手の気持ちを考える余裕がなかった。・トイレ内のパンツやパット等目につかないように気を付けた。・考えずに対応するだけになっていた。・相手の気持ちを考えるが、それが相手の気持ちに沿うことができているのかわからない。・プライバシーのことを皆のいる場所で話することがあった。・一方的にこちらの意見を話すことがあった。・自分の都合のいい方へ持っていくことがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 『一呼吸おく』 自分の気持ちが「今、ここにある」ことを大切にして、相手の目をみて、呼吸を感じ、視線を合わせ、向き合うことを実行する。
---------------	---

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6	0	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ・前年と同じような改善計画を立て、徹底化していく取り組みは、非常に重要なことを共感します。
- ・個人に焦点を当てて改善を目指すことも分かりやすく取り組みやすい方法だと思います。
- ・スタッフ全員で各項目に取り組み自己評価することで各自の立ち位置を確認し次年度へ繋げようとする意気込みを感じた。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・スタッフ全員の自己評価から抽出された改善計画はそれぞれ有意義なものであると感じた。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ・前年からステップアップしており積極的な取組が伺えます。
- ・MCSの活用で情報を共有する方法はとても良いと思う。個々人の立場や力量で各々のテーマに対する過不足は必ず生じると考える。それらを平準化するのが情報の共有であり、より優れた情報が企画ファイル作成へ繋がっていくものと思う。
- ・テーマごとの改善計画が具体的な事例に対してメンバー一人ひとりがどうやって行動改善を実行するというように、その方法まで共有されていた。
- ・～の方針ではなく、日々起こる人間の葛藤まで乗り越える手立てまでミーティングで共有されていることにとても安全、安心を感じる。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・2の「～したい」の実現についてはもう少し高みを目指せるのではと考えます。今後も引き続き利用者様に寄り添った支援をお願いします。
- ・自己評価は素直なものであってこそと思う。「出来た」「出来なかった」は明確な成果ではあるが、基本的には様々なことに立ち向かう真摯な意思が存在すれば必ずより良い結果が得られるものと信じる。

【改善計画】

- 9項目の改善計画が実行可能なものになるように検討する。さらに、2か月程の間隔で進捗状況をモニタリングできるようにミーティングを開催する。
- 計画が一望できるように、シートにまとめて、掲示をする。
- 外部の私たち（地域の方々）にもわかりやすい内容になるようにする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・職員の方も明るく実際中には入ってませんが、非常に雰囲気の良い場所だといつも感じています。
- ・事業所の自己評価から推考するとかなり評価できるものと思う。
- ・上1の項目はコロナ禍で難しい。
- ・上4の項目は通りがかりに見るといつも玄関は開けてある。
- ・いつも明るい雰囲気で迎えて頂いています。

【前回の改善計画】

- コロナ禍で難しいところもあるが、ウッドデッキでの活動を今後も増やしていき、声を掛けてもらえる環境を作る。その他、玄関前の花を植えたり、掲示板などからの発信も含めよいどこの存在をアピールしていく。
- 今後も畑を活用して、ご利用者・職員と地域の方と接する場を作り、お互いを知れるように環境作りをしていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・花壇をこれからも楽しみにしています。(今も力を入れておられるので)
- ・民生委員として、利用者さんと一緒に花壇の手入れ、畑での作業などの姿を眺められるのも自分の目的の一つになっています。
- ・ウッドデッキやプランター、その他を利用して事業所施設の存在をさらに強くアピールされてはいいかがか。
- ・畑づくりは良いですね。

【今回の改善計画】

- ウッドデッキを開放的にして、そこで積み木作りをしたり、花を育てたりして、地域の方と交流が生まれやすい環境にする。
- 掲示板の作成。
- 向かいの畑づくりを継続して、ご利用者、職員と地域の方と交流する機会をつくる。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5	0	2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域行事に積極的な姿勢が伺えます。
- ・館長はじめ運営推進会議参加の地域の方ともざっくばらんに語り合っている印象を受けます。
- ・職員さんなのか利用者さんのご家族なのか誰だかわからないことが多いです。
- ・事業所として地域との関わりに大変良く努力されていると思う。
- ・毎月の機関紙配りなど良いですね。
- ・家族の話をよく聞いて下さりアドバイスももらえて頼りにしています。

【前回の改善計画】

- コロナ感染状況を確認しつつ、できる限り開催できるように努める。
- 交流の在り方は人対人だけでないので、老人会のように花を植えて「きれいだね～」と声をかけてもらえるようにする。
- 六月灯の灯籠をよいどこいのウッドデッキに例年通り飾る事を提案する。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・コロナ禍で難しい部分もありますが、可能な範囲で上手く連携されていると感じます。
- ・向花小側としても新学期もスクールガードの手助けを宜しくお願いします。下校時の声掛け、児童見守りも、声掛けがうれしいようです。
- ・沢山の季節の花が植えられて、手入れもされて、多忙な中での利用者さんとの触れ合いに私も加わりたい位です。
- ・コロナ禍にあり、なかなか活動できなかったことと思う。地域との関わりに対する姿勢は強く感じている。
- ・機関紙の配布時、自分の意見だけで人の言うこと聞いていない方がいた。

【改善計画】

- スクールガードを地域の方と取り組む。
- 霧島市花いっぱい事業に登録し、花を育てる。
- 六月灯の灯籠をよいどこいのウッドデッキにお借りして例年通り飾ることを提案する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4	1	2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6	0	1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・徘徊のある方へも、他事業所と連携して取り組みを行っている姿が見えました。
- ・事業所としてはとても良く活動されていると受け止めている。事業所の存在がだんだん地域に馴染んできていると思う。
- ・いつも機関紙で見えていて自分がもし入所する状況になっても楽しそうでいいですね。

【前回の改善計画】

- 地域行事を見える化して、参加担当を決める。
- 地域の活動や行事には、ご利用者とスタッフが一緒に参加できるようにする。
- 運営推進会議を利用して地域の中の困っている方の情報をもらい、相談できる場をつくりだすことができる。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・利便の良い場所もあり、引き続き、地域の相談所となっただけに期待します。
- ・事業所内の多忙な業務の中にありながら地域に出向いて暮らしの情報やサポートに良く努力されていると感じた。

【改善計画】

- 地域活動や行事には、ご利用者とスタッフが一緒に参加できるようにする。
- 運営推進会議の場を、地域の中の困っている方の相談できる場としても活用する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6	0	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・徘徊のある方への対応やみまもりアプリの周知を行っていたことは評価できると考えます。
- ・定期的開催される会議の中で最新の情報交換や知識の共有ができていると思う。
- ・事業所の報告を聞いていてそこまでやるの！地域の住人としては有難いことで暮らしに安心感があります。

【前回の改善計画】

- コロナ禍であるが定期的な開催を大前提として、なるべく多くの方へ出席して頂ける工夫をする。
- 意見を出しやすい会議を心掛け、行事の事だけでなく、地域の困りごとについても話し合える会議にしていく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議に出席できない時が多く申し訳ないです。担当者さんありがとう。
- ・会議に参加する人たちの立場の違いから発言に遠慮がちなところを散見する。情報交換の場としてより有意義なものとするためにも必ず何かを発言していただく方法を考えると良いのではないか。

【改善計画】

- コロナの感染対策を考慮しながら開催できるようにする。感染拡大の状況によっては、文書開催にする。
- 意見の出しやすい会議運営を心掛ける。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	1	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	5	0	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	3	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災対策を地域と協力して行っている様子がうかがえました。
- ・私個人が計画を細かく知らないため申し訳ありません。
- ・BCPを策定されたことを高く評価します。今後とも地域における良きパートナーとしてのご活躍を期待します。
- ・近所に住む住民としては、災害時何かお手伝いできる事があれば出来るだけの協力もしたいと思っている。
- ・コープ国分店の駐車場等を使わせてもらえる等前もっての打ち合わせ準備ができていたので良いと思います。

【前回の改善計画】

- 府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災をともに考える事業所である認識を持つ。
- ・当事業所の防災訓練に女性防火クラブ・館長さん・自治会長さん・近隣住民に参加して頂けるよう計画する。
  - ・AED訓練を実施。その際は地域の方の参加を呼び掛ける。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・日頃見慣れているからこと見えないものがあるのではないのでしょうか。なかなか難しいことであると思いますが、日常の小さな気づきに対する意識の高揚を防災の基本とすることが大事なのかもしれませんと考えたりします。
- ・引き続き、地域連携をよろしくお願いいたします。

【改善計画】

- 府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災をともに考える事業所である認識と行動をする。
- 事業所の防災訓練には地域の方（館長さん、自治会長さん、近隣の方）の参加を呼び掛ける。また、地域の防災訓練に参加ができるようにする。



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社浪漫	代表者	黒岩 尚文	法人・事業所の特徴	① 介護予防拠点の地域交流スペースを365日開放（体操教室ほか） ① 管轄警察と校区小学校からの子ども110番の認定。 ② 霧島市まちかどまるごと相談所設置及びライフサポートワーカーの配置。 ③ スクールガードの参加 ④ ライフサポートプランの導入。 ⑤ 霧島市地域密着型サービス事業者連合会の事務局を担い、行政・地域包括支援センター・事業所のネットワークを作る役割を担っている。 ⑥ 家族会の実施 ⑦ 加治木に同法人の事業所があり、互いに連携を図っている。 ⑧ 社会貢献活動の受け入れ ⑨ 学生の職場体験の受け入れ ⑩ 向花小児童クラブとの交流 ⑪ 府中公民館・朝日自治会の加入 ⑫ 府中防災組織協力事業所 ⑬ 積み木プロジェクト（アイランドホーム・隼人工業高校と連携して積み木を保育園へ届ける事業）（霧島市ふるさと納税出品） ⑭ 緊急時避難受け入れ事業
事業所名	地域サポートセンター よいどこい	管理者	有菌竹子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	5人	人	1人	1人	人	4人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	それぞれの改善計画の内容を確認し、達成可能なものであるか考える。同時に事業所の職員だけでなく、外部の人間（地域の方々）にも分かりやすい内容であるかも考える。見える化していく事は今後も継続。	それぞれに改善計画を立案し、実行できたものと、できなかったものの差が大きかった。改善計画が一望できるように一覧にして掲示し取り組むことができた。 今後も、改善計画を実行できているかどうかの経過を皆でお喋りできる取り組みが必要と考える。	・前年からステップアップしており積極的な取組が伺えます。 ・MCSの活用で情報を共有する方法はとても良いと思う。個々人の立場や力量で各々のテーマに対する過不足は必ず生じると考える。それらを平準化するのが情報の共有であり、より優れた情報が企画ファイル作成へ繋がっていくものと思う。 ・テーマごとの改善計画が具体的な事例に対してメンバー一人ひとりがどうやって行動改善を実行するというように、その方法まで共有されていた。 ・～の方針ではなく、日々起こる人間の葛藤まで乗り越える手立てまでミーティングで共有されていることにとっても	○9項目の改善計画が実行可能なものになるように検討する。さらに、2か月程の間隔で進捗状況をモニタリングできるようにミーティングを開催する。 ○計画が一望できるように、シートにまとめて、掲示をする。 ○外部の方たち（地域の方々）にもわかりやすい内容になるようにする。

			安全、安心を感じる。	
B. 事業所の しつらえ・環境	コロナの関係で難しいところもあるが、ウッドデッキでの活動を今後も増やしていき、声を掛けてもらえる環境を作る。活動だけでなく花を植えたり、掲示板などからの発信も含めよいどこの存在そのものをアピールしていく。	ウッドデッキでの活動が多くできなかったが、そこでも交流が時々行われた瞬間があり、この環境を活かすことの可能性は大きいと感じた。掲示板の作成に至らず今後の課題になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇をこれからも楽しみにしています。(今も力を入れておられるので)</li> <li>・民生委員として、利用者さんと一緒に花壇の手入れ、畑での作業などの姿を眺められるのも自分の目的の一つになっています。</li> <li>・ウッドデッキやプランター、その他を利用して事業所施設の存在をさらに強くアピールされてはいかがか。</li> <li>・畑づくりは良いですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウッドデッキを開放的にして、そこで積み木作りをしたり、花を育てたりして、地域の方と交流が生まれやすい環境にする。</li> <li>○掲示板の作成。</li> <li>○向かいの畑づくりを継続して、ご利用者、職員と地域の方と交流する機会をつくる。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	運営推進会議は定期的を開催する事を目標として、コロナの問題もあるが、その中で出来ることを地域の方々と一緒に考えていく。交流の在り方は人対人だけではない、老人会のように花を植えて「きれいだね～」と声をかけてもらえるようにしたい。六月灯の灯籠をよいどこのウッドデッキに例年通り飾る事を提案する。	運営推進会議はコロナの発生状況により文書開催と直接開催で継続的に開催することができた。 霧島市の花いっぱい活動に参加して育てることができた。 六月灯の灯籠は今年は飾ることができなかった。 向花小児童クラブさんへご利用者の手作りの雑巾を届けて交流を図れた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で難しい部分もありますが、可能な範囲で上手く連携されていると感じます。</li> <li>・向花小側としても新学期もスクールガードの手助けを宜しくお願いします。下校時の声掛け、児童見守りも、声掛けがうれしいようです。</li> <li>・沢山の季節の花が植えられて、手入れもされて、多忙な中での利用者さんとの触れ合いに私も加わりたい位です。</li> <li>・コロナ禍にあり、なかなか活動できなかったことと思う。地域との関わりに対する姿勢は強く感じている。</li> <li>・機関紙の配布時、自分の意見だけで人の言うこと聞いていない方がいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スクールガードを地域の方と取り組む。</li> <li>○霧島市花いっぱい事業に登録し、花を育てる。</li> <li>○六月灯の灯籠をよいどこのウッドデッキにお借りして例年通り飾ることを提案する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	地域の行事には積極的に参加していく。 運営推進会議を利用して地域の中の困っている方の情報をもらい、出来ることがあれば相談できる場を作っていく。	地域の用排水路清掃作業に参加したりすることができたが、その他の活動は活動自体も多くなく、交流を図る機会が少なかった。事業所の機関紙を手配りして地域の方と交流する機会を得た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便の良い場所もあり、引き続き、地域の相談所となっただけのことに期待します。</li> <li>・事業所内の多忙な業務の中にありながら地域に出向いて暮らしの情報やサポートに良く努力されていると感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域活動や行事には、ご利用者とスタッフが一緒に参加ができるようにする。</li> <li>○運営推進会議の場を、地域の中の困っている方の相談できる場としても活用する。</li> </ul>
E. 運営推進会議を 活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な開催を大前提として、なるべく多くの方に参加して頂ける工夫をする。</li> <li>・意見を出しやすい会議を心掛け、行事の事だけでなく、地域の困りごとについても話し合える会議にしていく。</li> </ul>	館長さん、自治会長さん、児童クラブさん、民生委員さん、地域住民さん、近隣福祉事業所、行政、へ毎回参加を打診し、開催することができた。 意見を出しやすい雰囲気を作り出すよう心掛けたが、全員が発言しやすいという場には課題はまだ大きい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議に出席できない時が多く申し訳ないです。担当者さんありがとうございます。</li> <li>・会議に参加する人たちの立場の違いから発言に遠慮がちなところを散見する。情報交換の場としてより有意義なものとするためにも必ず何かを発言し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナの感染対策を考慮しながら開催できるようにする。感染拡大の状況によっては、文書開催にする。</li> <li>○意見の出しやすい会議運営を心掛ける。</li> </ul>

		地域のサポートが必要な気になる住民の話をする事ができた。	ていただく方法を考えると良いのではないか。	
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も府中防災会議協力事業所として協力していく。</li> <li>・地域、事業所どちらの防災訓練にも参加する事を目指す。</li> <li>・事業所の防災訓練には地域の方々の参加も計画し、一緒にAEDについても学習する。</li> </ul>	<p>館長さんより府中防災事業計画を運営推進会議で話を聴く機会を得た。またよいどこいの事業継続計画(BCP)作成したものを発表する機会を得た。</p> <p>よいどこい防災訓練に運営推進会議メンバーに参加を求め、参加いただいた。AED 学習は防災訓練時にスタッフが指導を受ける機会をつくった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃見慣れているからこと見えないものがあるのではないのでしょうか。なかなか難しいことであると思いますが、日常の小さな気づきに対する意識の高揚を防災の基本とすることが大事なのかもしれないと考えたりします。</li> <li>・引き続き、地域連携をよろしく願います。</li> </ul>	<p>○府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災をともに考える事業所である認識と行動をする。</p> <p>○事業所の防災訓練には地域の方（館長さん、自治会長さん、近隣の方）の参加を呼び掛ける。また、地域の防災訓練に参加ができるようにする。</p>